

「白神プロジェクト」招聘（へい）講座

令和4年9月9日（金）に招聘（しょうへい）講座を行いました。これは、「白神山地」の魅力伝えることができる生徒の育成を目指した「白神プロジェクト」の一環となっています。

今回は、出身地の長野の伝統の祭りや、屋久島や白神山地を題材とした写真家として様々な活躍されている、秦 達夫さんから、「写真家から観た白神山地」という演題でご講演をしていただきました。

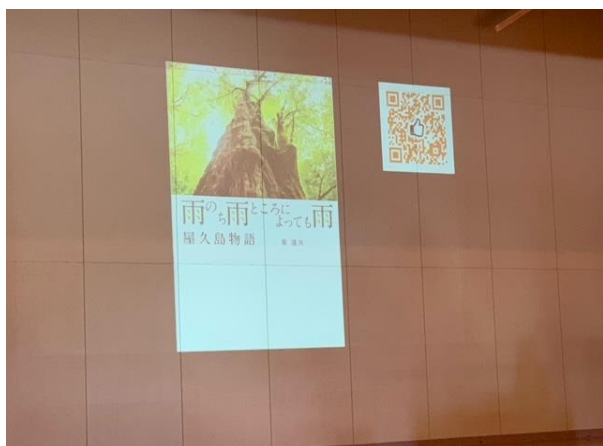


講師の写真家 秦 達夫 氏



講演の様子

秦さんからは、地元のことを知ることが自分の自信につながった経験や、写真から何を伝えたいかを思いながら作品を撮っていることや、写真を撮るときの逆光などの光の使い方の技術を、エピソードを交えながら熱く語ってくれました。また、この冬に倒れてしまった400年ブナに対しても、「そこに森の窓（ギャップ）ができ、新しい光による生命が育ち、次の時代がやってくる」という説明をいただきました。



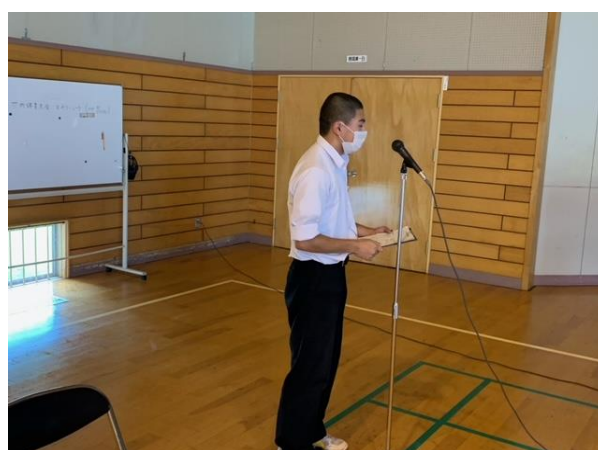
本人の作品（本）の紹介



（かつての）400年ブナの写真



様々な作品をエピソードを添えて説明



代表生徒が謝辞を述べました